

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和03年09月28日

計画の名称	公共施設の整備による良好な住環境の向上												
計画の期間	平成28年度 ~ 令和02年度 (5年間)								重点配分対象の該当				
交付対象	岡崎市,愛知県												
計画の目標	都市計画マスタープラン2010において、「便利で快適な住環境づくり」「市民の暮らしを守る生活環境づくり」「主体性・創意工夫を活かした市民協働の促進」等が都市づくりの主要課題として整理されている。本計画は、基盤整備が遅れている地区及び低未利用地について、土地区画整理事業等により都市基盤の整備を進め、都市の防災機能向上や、公園、生活道路といった十分なオープンスペースの確保を図るとともに、利便性の高い駅周辺部においては定住人口を確保すると同時に、地域に不足している高度な救急医療病院や大規模な商業施設を配置し、それら施設と既存住宅地を結ぶ道路ネットワークを構築することによりコンパクトなまちづくりを推進し、良好な住環境を向上させることを目標とする。また、公園などの身近な公共施設の新規整備について、住民の意向を取り入れ、地域住民が愛着を持てる公共施設の整備を推進する。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	2,746	A	2,636	B	0	C	110	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	4	%

番号	計画的成果目標(定量的指標)	定量的指標の現況値及び目標値		
		定量的指標の定義及び算定式		
		当初現況値 (H27末)	中間目標値	最終目標値 (R2末)
1	区画整理施行区域内の幅員4m以上の道路に接道しない消防活動困難区域の解消率を63%から92%に増加 区画整理施行区域内の消防活動困難区域解消率 施行区域内の消防活動困難区域解消率 = (施行区域内の消防活動困難区域解消面積) / (施行区域面積) (%)	63%	%	92%
2	区画整理施行区域内の鉄道周辺部の新規住宅着工件数を72件から220件に増加 区画整理施行区域内の鉄道周辺部の新規住宅着工件数 区画整理施行区域内において、鉄道駅から概ね1,000m圏内の新規住宅着工件数を計測する	72件	件	220件
3	交付対象事業区域内の公共施設整備に関する地域住民の意見集約機会を4回から13回に増加 交付対象事業区域内の公共施設整備に関する地域住民の意見集約機会 交付対象事業区域内において、公共施設の整備内容に関するワークショップやアンケート調査などの住民意見集約機会の累計回数を計測する	4回	回	13回
4	既存住宅地から医療施設等までの走行時間をR2までに38%短縮 交付対象事業区域外から医療施設等までの走行時間短縮率 交付対象事業区域外から医療施設等までの走行時間短縮率 = (整備前走行時間 - 評価時走行時間) ÷ 整備前走行時間 × 100	0%	%	38%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H28	H29	H30	H31	R02				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
道路事業	A01-001	道路	一般	岡崎市	直接	岡崎市	市町村	改築	市道柱井内線改良事業(1-A-4)	L = 190m	岡崎市						16	-		
	A01-002	街路	一般	岡崎市	直接	岡崎市	S街路	改築	(都)井内新村線(1-A-6)	道路改良 L = 81m	岡崎市						97	-		
		P 4 から移行																		
	A01-003	街路	一般	岡崎市	直接	岡崎市	S街路	改築	(都)若松線(1-A-7)	道路改良 L = 716m	岡崎市						418	-		
	A01-004	街路	一般	愛知県	直接	愛知県	都道府	改築	(都)福岡線(1-A-8)	道路改良 L = 3 3 5 m	岡崎市						0	1.4	-	
											小計						531			
都市公園・緑地等事業	A12-005	公園	一般	岡崎市	直接	岡崎市	-	-	都市公園整備事業(駅南中央公園)(1-A-5)	近隣公園1箇所 A = 2.0ha	岡崎市						192	4.6	-	
											小計						192			

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H28	H29	H30	H31	R02			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
市街地整備事業	A13-006	市街地	一般	岡崎市	間接	区画整理組合	-	-	岡崎真伝特定土地区画整理事業(1-A-1)	都市再生区画整理事業 55.3 ha	岡崎市						72		-
	A13-007	市街地	一般	岡崎市	間接	区画整理組合	-	-	岡崎駅南土地区画整理事業(1-A-2)	都市再生区画整理事業 41.2 ha	岡崎市						1,549		-
	A13-008	市街地	一般	岡崎市	間接	区画整理組合	-	-	岡崎蓑川南部土地区画整理事業(1-A-3)	都市再生区画整理事業 22.2 ha	岡崎市						292		-
											小計						1,913		
											合計						2,636		

C 効果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H28	H29	H30	H31	R02				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
市街地整備事業	C13-001	市街地	一般	岡崎市	直接	岡崎市	-	-	防犯灯整備事業（1-C-1）	環境配慮（LED）防犯灯120基	岡崎市							3	-	
		土地区画整理事業（1-A-1, 1-A-2, 1-A-3）の整備にあわせて防犯灯の整備を進めることにより、住環境の向上が図れ、安全・安心して暮らすことのできる住環境の形成に寄与する。																		
	C13-002	市街地	一般	岡崎市	直接	岡崎市	-	-	都市公園整備事業（真伝特定地区）（1-C-2）	街区公園3箇所 A=0.8ha	岡崎市							45	-	
		土地区画整理事業にあわせて都市公園の整備を進めることにより、災害時の避難場所の確保及び地域コミュニティの形成など、安全・安心して暮らすことのできる住環境の形成に寄与する。																		
	C13-003	市街地	一般	岡崎市	直接	岡崎市	-	-	都市公園整備事業（菟川南部地区）（1-C-3）	街区公園3箇所 A=0.6ha	岡崎市							62	-	
		土地区画整理事業にあわせて都市公園の整備を進めることにより、災害時の避難場所の確保及び地域コミュニティの形成など、安全・安心して暮らすことのできる住環境の形成に寄与する。																		
	C13-004	市街地	一般	岡崎市	直接	岡崎市	-	-	都市公園整備事業（岡崎駅南地区）（1-C-4）	街区公園1箇所 A=0.2ha	岡崎市							0	-	
		土地区画整理事業にあわせて都市公園の整備を進めることにより、災害時の避難場所の確保及び地域コミュニティの形成など、安全・安心して暮らすことのできる住環境の形成に寄与する。																		
												小計						110		
												合計						110		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
整備計画策定主体である岡崎市都市整備部市街地整備課において評価を実施し、岡崎市社会資本総合交付金評価委員会にて評価内容を審議し評価結果の取りまとめを行った。	交付期間終了時点（令和3年3月）
	公表の方法 岡崎市ホームページ上にて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・真伝地区及び菟川南部地区では、事業の進捗により、生活道路等の整備が完了し、消防活動困難区域が解消した。 ・菟川南部地区及び岡崎駅南地区では、低未利用地の計画的な基盤整備の効果により、新規住宅の着工件数が着実に増加し、良好な居住環境を備えた宅地の供給が進んでいる。 ・岡崎駅南地区については、役員会等において整備の状況を検討し、事業の進捗を図っている。 ・岡崎駅南地区では、幹線道路等の整備が着実に進み、既存住宅地から医療施設までの走行時間の短縮が進んでいる。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
<ul style="list-style-type: none"> ・消防活動困難区域解消率については、本事業期間で改善効果が認められるものの、岡崎駅南地区では依然として未解消の区域も存在するため、引き続き事業を実施し良好な居住環境を形成させることが必要である。 ・低未利用地の基盤整備により新規住宅等の着工件数が大幅に増加したが、今後は、鉄道駅周辺での良好な宅地供給を進めることが必要である。 ・本事業期間では、事業初期段階の地区を中心に住民のまちづくり機運の向上を図ることを目標としてきたが、今後は公園などの身近な公共施設の整備内容について、より住民意向を反映させながらまちづくりを進めることが必要である。 	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	施行区域内の消防活動困難区域解消率	
	最終目標値	92%
	最終実績値	94%
2	施行区域内の新規住宅等の着工件数	
	最終目標値	220件
	最終実績値	331件
3	まちづくりへの参加機会の増加	
	最終目標値	13回
	最終実績値	9回
4	医療施設等までの走行時間短縮率の増加	
	最終目標値	38%
	最終実績値	38%